２０１６年度をかえりみて

2016 年度理事長　今　　一　憲

まずは２０１６年度共に活動してきたメンバー、地域の皆様、先輩諸兄、今年の五所川原青年会議所活動に関わって頂きました全ての方々へ、心より感謝御礼申し上げます。

今年は愛する「故郷」に目を向け、特に「郷土愛」に注力し１年間運動展開して参りました。全国的な地域課題でもある少子高齢化、人口減少は、我々の住むこの地域も影響を受け、解決していかなければならない課題のひとつであります。

我々が幼かった頃は、経済の成長期・ベビーブームと現在と相対する時代環境でございました。もちろん当時はＩＴやインフラ関係は今より発展しておらず、利便性という観念からは現在より不便だったのかもしれません。

しかしながら、まちはにぎわい、人々のコミュニケーションもいまより活発でした。世の中には古き良き伝統や人々のこころ、決して変えてはいけないかけがえのないものがございます。そうしたかけがえのない物までもが冒頭の地域問題が浮き彫りとなることに逆比例して、薄れてきている印象が見受けられます。

守るべきものと時代に則した変革の融合。今年一年の我々の活動ではとてもそのすべての課題を解決することは決してできませんでしたが、この今年一年の活動を契機に、これからの地域を導いてくべき会員ひとりひとりが引き続き、自覚し行動していくことで、１０年、２０年、１００年先も明るいこの「故郷」を創造して欲しいし、そうあるべきです。

今年度スローガン「ｓＵＰｐｏｒｔ～積極的に明日へ向かって～」は、２０１６年度と共に終わりではございますが、我々の地域へのそして仲間へのｓＵＰｐｏｒｔと、そして積極的な明日へ向かっての活動はまだまだ、これからであります。今後もＪＣはもちろん、全ての活動において共に突き進みましょう。

１年間 本当にありがとうございました。

総務委員・会員委員会

副理事長　宮　崎　敬　也

本年、副理事長の任を授かり総務委員会と会員委員会の担当をさせていただきました。基本理念『襷をつなげ！地域と共に夢溢れる「故郷」の未来に向かって』のもと、基本方針「信頼ある組織づくり・運営の確立」（総務委員会）並びに「全会員による拡大と会員個々の資質向上」（会員委員会）を一年の柱に活動した委員会を見守って参りました。

冷静沈着かつ論理的な對馬総務委員長、場を盛り上げて楽しい雰囲気を作ることに長けた對馬会員委員長、とお互い特徴的な個性や能力を持つお二人。この一年間、委員の方々と結束し、それぞれの担いとその目標に向けて邁進されたことにより、両委員長・両委員会の皆さまは一回りも二回りも大きくなられたと感じております。

青年会議所の役職は単年度ではありますが、その年々で培った力と紡いだ友情は一生のものです。これら得たものをぜひ活かし、益々ご活躍されますよう期待しております。

青少年委員会

副理事長　高　橋　美　奈

２０１６年度、青少年委員会の担当副理事長として、一年間活動して参りました。青少年委員会では、新規事業として、小学生を対象とした「ごしょりんクエスト」、高校生を対象とした「かだるべ五所川原」、継続事業として「わんぱく相撲」を開催いたしました。事業の開催へ向けて、地域の問題を抽出、今必要な事業内容とは何か意見を出し合い企画し、佐々木委員長のリーダーシップのもと、メンバー各々が自覚をもって活動している姿を強く感じる事が出来、結束力のある委員会だと感じた年となりました。結果として、沢山の壁を乗り越え、事業成功へと導かれたものと確信しております。もちろん、継続事業を開催する事も大切であり、大変な事ではございますが、目まぐるしい環境の変化や、今の地域の課題に目を向け、事業を開催し続けることが、地域に必要とされる団体として存続出来るのだと、改めて気づかされた一年となりました。

また今年は、東北ゼミナール委員会への出向の機会をいただき、そこでの出会いや学びも非常に良い刺激となりました。ゼミでの講座はもちろん、多くの人と話をすることで、先入観や、考え方、ＪＡＹＣＥＥとしての自覚など、自分自身の振り返りと、今後の活動の在り方を考えなおす時間となりました。

最後に、副理事長とゼミナール委員会出向の機会を与えてくださり、サポートしてくださった理事長はじめ理事の皆さま、ＬＯＭの皆さまに心から感謝するとともに、今年の経験を忘れず、次年度以降も地域の為に、五所川原青年会議所のメンバーとして自覚をもって活動することを約束し、２０１６年を締めくくりたいと思います。

一年間ありがとうございました。

まつり委員会

副理事長　楢　崎　誉　人

本年度、「まつり委員会」担当副理事長並びに「第４４回奥津軽虫と火まつり」実行委員長を務めさせて頂きました。優秀な田中委員長の舵取りの下、数多くの高校生の方々に御協力を頂きながら「奥津軽虫と火まつり親善大使」活動を行って参りました。例年よりもプログラムの回数が多く、委員会のメンバーには負担が大きかった事と思います。しかし、その甲斐がありまして、参加して下さった小学生の数も多く、素晴らしい事業だったと沢山か方々から声を掛けて頂きました。まつりの意義に触れ、学び、そして実際にまつりを体験した事によって、将来この中から「奥津軽虫と火まつり」の後継者が生まれる事を切に願います。「奥津軽虫と火まつり」実行委員会では、五所川原青年会議所メンバーは勿論の事、関係諸団体のご協力を賜り、無事に「第４４回奥津軽虫と火まつり」を終える事が出来ました。今年度の部会長のメンバーは優秀な人材ばかりで、トラブルが起きても臨機応変に対応してくれ、安心して任せることが出来ました。五所川原青年会議所の一大事業を終えそのプレッシャーから解き放たれた今、得も言えぬ達成感と安堵感に包まれております。

２０１６年度、至らぬ私を支えて下さった全ての皆様に感謝申し上げます。一年間誠に
ありがとうございました。ヤッサー！ヤッサー！！ヤッサー！！！

地域委員会

副理事長　上　見　一　嘉

２０１６年度地域委員会担当副理事長を務めさせていただきました。ＪＣ・行政・市民が三位一体となって協働する討議会や事業を遂行する委員会の副理事長という事で、どのように事業を開催し市民の皆様とともに歩みを進めて行けばよいのか、委員長にどのような伝え方をしていけばよいのか不安でした。

平山委員長は初委員長という事で議案書の書き方や予算書の書き方、事業の進め方など不慣れな点は多々ありましたが、とても根気強く取り組み委員会メンバーを引っ張って行ってくれました。また、委員会メンバーも平山委員長をサポートし、いろいろな意見を出しながらメンバー同士協力し合い事業を卒なくこなし成功に導いてくれました。私は陰で支える立場であり、委員会の方向性を修正し事業の成功やメンバー個人の成長を促す職務でありながら、委員長や委員会メンバーがあまりにも優秀であるため、逆にいろいろな事を気づかされたような気がしています。

この様な一年を振り返ると、平山委員長や委員会メンバーの皆さんとともに活動できたことは私の誇りだと思っております。一年間ありがとうございました。また、他委員会の皆様も地域委員会に力を貸していただき本当にありがとうございました。

ブロック大会特別室

ブロック大会特別室長　中　西　宗　興

２０１６年度ブロック大会特別室室長を務めさせていただきました。五所川原の地で開催される１０年ぶりの大会ということで、ＬＯＭ内に前回大会の経験者がほとんどいなかったということもあり、菊池担当理事とともに過去の大会の情報収集に始まり、実行委員会の組織づくり、県内各地会員会議所へのＰＲ活動などともに汗をかいて参りました。実際の大会においては、目まぐるしく変化する状況のなか、各部会長・メンバーの皆様に臨機応変の対応をしていただき、ありがたく頼もしい気持ちでいっぱいでした。苦しいことも多かったですが、関係した皆様のおかげで、楽しく乗り越え、大会を成功させることができたと思います。

心より御礼申し上げます。

委員会活動報告

総務委員会

構成メンバー

副理事長　　宮崎　敬也
委 員 長　　對馬　央也
副委員長　　秋元　　隆
委　　員　　小笠原崇文、山田　貴之、坂本　　光、平山　智久

基本方針

五所川原青年会議所は、愛すべき「故郷」の繁栄を築く為に「まちづくり・ひとづくり運動」を展開して参りました。今日まで先人が築き上げたこの愛すべき「故郷」に育まれてきた我々は､今まさに「故郷」を取り巻く人口減少・少子高齢化・経済の低迷等の諸問題に対し、責任ある青年世代として、次代へと襷を繋げるべく当会の積極的な運動を展開し、夢溢れる「故郷」の未来を実現していく必要があると考えます。

今年度、総務委員会では、執行部との連携を図りながら公益法人制度改革に則る当会の信頼ある組織づくりを確立すると共に、基本的な担いである新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙の開催、各委員会・特別室が担当する定例会の設営を行います。また、会員名簿・基本資料を作成し対外へ向けた情報公開、さらには、地域の皆様に広く認知して頂く為にホームページを活用した情報発信を行うことで、当会の積極的な運動を展開できる環境を整えて参ります。

総務委員会が、信頼ある組織づくり、総会の開催・定例会の設営、地域への情報発信を担い、当会の運動を「ＳＵＰＰＯＲＴ」することにより、次代へと襷を繋げ夢溢れる「故郷」の未来を実現できると確信し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○新年祝賀会

開 催 日：平成２８年１月９日（土）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：１３７名（来賓４７名、来訪ＪＣ２６名、シニアクラブ３０名、会員３４名）
事業内容：日頃大変お世話になっている関係諸団体・諸先輩方に「公益社団法人五所川原青年会議所」の今年度役員並びに会員をお披露目し、新体制で行われる各委員会の事業にご理解とご協力をいただき、青年会議所運動が円滑に進められるきっかけ作りの場とした。

○２月通常総会

開 催 日：平成２８年２月２９日（月）
開催場所：ホテルサンルート五所川原
参加員数：３７名（正会員３０名、特別会員１名、仮入会員６名）

事業内容：２０１５年度の事業報告及び収支決算を承認し、２０１６年度の事業計画を推し進める為の士気の高揚を図った。

○７月定例会　役員選考委員会委員選挙

開 催 日：平成２８年７月１４日（木）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：３９名（正会員３８名、仮入会員１名）

事業内容：当会役員選任規定第３条４項に基づき、次年度役員を選考する役員選考委員会を設置する為役員選考委員を３名連記の無記名方式による選挙を行い、上位得票者５名を選出した。

○９月通常総会

開 催 日：平成２８年９月２９日（木）

開催場所：ホテルサンルート五所川原

参加員数：４１名（正会員３５名、特別会員１名、仮入会員５名）

事業内容：２０１７年度役員候補者を承認し、次年度の活動体制を整えた。

○１２月定例会 ２０１７年度事業計画説明会並びにＬＯＭ内褒賞授賞式

開 催 日：平成２８年１２月１８日（日）

開催場所：プラザマリュウ五所川原

参加員数：４０名（正会員３９名、仮入会員１名）事業内容：２０１７年度事業計画を会員へ周知し、２０１６年度の活動を全会員で総括した。また活動に貢献した会員を称え褒賞を授与し、次年度への意識の向上を図った。

かえりみて

信頼ある組織づくり、総会の開催・定例会の設営、地域への情報発信を担う総務委員会。五所川原青年会議所を縁の下から支え、当会の青年会議所運動が発信される。他委員会とは違い、事業内容が定められ、公益事業や交流事業を行わない極めて事務的な委員会であり、その活動内容は総務委員長となることで初めて知るものであった。今年度、自分の職責を全うすることはもちろんだが、変え辛いであろう「総務色」にどれほど挑戦することが出来るか、そのような動機付けを行い今年度が始まった。

総務が主管する総会・定例会にどのような「隙間」があるかを見極めながら議案作成に取り組む中、７月定例会「役員選考委員会委員選挙」のセミナー・開票方法、９月通常総会後の「決意表明会」の内容には挑戦する部分があると思い、理事会の奮闘を経て開催する事が出来た。そして、当会の最後を締め括る１２月定例会では各方面から様々なアイディアを頂き、委員会の枠を超えた全委員会による定例会として成功を収めることが出来ました。

この挑戦の裏には委員の存在が不可欠でした。毎月の設営と毎月の委員会。委員会では議案内容を相談し、自信を付けて理事会に臨む。そんな我が儘な自分を支えて頂き誠に感謝いたします。当会を支える総務委員会は、総務委員によって支えられているという面白い構図を垣間見えた一年となりました。

役員選考委員会委員選挙
JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所
通常総会
JCI

JCI

公益社団法人 五所川原青年会議所
決意表明会

新　年　祝　賀　会
JCI

会員委員会

構成メンバー

副理事長　　宮崎　敬也
委 員 長　　對馬　幸征
副委員長　　小野　顕成
委　　員　　葛西　良樹、木村健太郎、小枝　孝太、吉田　博貴、成田　若菜　川村、優弥
　　福士　裕朗、石川　恭裕

基本方針

我々の住み暮らすこの愛すべき「故郷」の「明るい豊かな社会」の実現の為に、青年会議所運動を展開する際、運動の大きさと会員数は深い関係にあります。そうした中、五所川原青年会議所は団塊ジュニア世代の卒業が近年顕著な傾向を辿り、会員拡大は急務であります。また、会員の増加に努めるのみではなく､個々の資質を磨き品格ある人材育成を図りながら､会員相互の協調性を高めて夢で溢れた「故郷」であり続けるよう、未来を担う人たちへ襷を繋げなければなりません。

まずは、日本青年会議所の会員拡大プログラムを通じて拡大の意義や目的を会員拡大に反映できるよう会員委員会が学びます。そして、会員全体に共有し西北五地域の２０歳から４０歳までの青年を対象に異業種交流会を開催し拡大を進めます。また、青年としての英知の向上を図る機会を設けて会員個々の資質向上に努め、気概ある青年団体を目指します。更に、新入会員や当会の先輩方を交えて親睦を深めて頂く会員交流会を開催し、当会全体の活性化に繋がるように努めて参ります。

「会員拡大｣､「資質向上｣､「会員交流」の各種会員拡大事業を通じて、巡り合せた一生涯の仲間と意義を共有し青年会議所運動を展開することで、地域を背負って立つという気概を高め、夢に溢れた地域を目指し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○会員拡大事業

開 催 日：平成２８年３月１～３１日
開催場所：事務局
事業内容：前年度から引き継いだ会員候補者リストの精査し、２０１６年度版を作成して会員の皆様と候補者との関係性を調査した結果に基づいて拡大事業の基盤を作成致しました。

○新入会員セミナー

開 催 日：第１回目平成２８年３月２２日　第２回目８月１０日
開催場所：養老乃瀧五所川原店
参加員数：第１回目２５名　第２回目２９名
事業内容：新入会員の方々に青年会議所の概要を理解して頂き、青年会議所での自分のあり方・今後の目的を持って活動して頂くきかっけつくりにします。１回目は委員長と三役との対話、２回目は各委員会紹介を開催致しました。

○異業種交流会

開 催 日：平成２８年４月２２日

開催場所：イズミボーリング　養老乃瀧五所川原店

参加員数：対内２１名　対外１２名　合計３３名

事業内容：異業種交流会（ボーリング大会や懇親会）を通してメンバーとの交流を深めると共に青年会議所の魅力を知ってもらい新入会員の増進に繋がることを目指し開催致しました。

○資質向上に繋がる５月定例会～これであなたも１ＵＰ～

開 催 日：平成２８年５月１９日

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：対内３５名　対外１名　合計３６名

事業内容：青年会議所会員として、一社会人としてビジネスや交流を図る場面で「安心」や「信頼」を高めるためにもビジネスマナー（基礎）成長研修を通して、あらゆる場面でのビジネスマナーをしっかり習得していただき、個々の資質を高めることを目的として実施致しました。
①挨拶のしかた　②名刺交換のしかた　③常識問題

○ＯＢ交流会

開 催 日：平成２８年５月２６日

開催場所：五所川原温泉ホテル

参加員数：現役２０名　ＯＢ１１名

事業内容：五所川原ＪＣのシニアクラブの先輩方々と心を込めて接する事で情報の共有や親睦を深めることを目的として実施致しました。
①現役・新入会員自己紹介　②麻雀・トランプ・ゲーム

○卒業式

開催日　　：平成２８年１２月１８日

開催場所：プラザマリュウ五所川原

参加員数：３４名　卒業生７名

事業内容：今までご活躍された卒業生達のＪＣ活動を強く心に刻んで、旅立ちという名で送り出す卒業式を開式致しました。

○クリスマス家族交流会

開 催 日：平成２８年１２月１８日

開催場所：プラザマリュウ五所川原

参加員数：３６名　家族（奥様お子様３５名）

事業内容：家族交流会ということで、日頃からかげで支えて下さっている家族の方に感謝を込めてのイベントと会員家族同士の交流を目的として開催致しました。

青少年委員会

構成メンバー

副理事長　　高橋　美奈
委 員 長　　佐々木篤史
副委員長　　工藤　智哉
委　　員　　松橋　康成、成田　和代、高橋　尚裕、近藤　陽介、森下　洋光、石田　　潤
　　高谷　　怜

基本方針

地域にとって「宝物」である子供達。この子供達を取り巻く環境は年々良くなっているとは決して言えず、人と人との繋がりや歴史・伝統、地域への興味も希薄となり「故郷」を愛する心も失われつつあります。「故郷」を愛する心を育てる為には教育機関や家庭のみならず、我々地域の大人も責任を持ち、その愛する心を芽生えさせ、また、愛すべき「故郷」の為に、未来のこの地域を牽引できる「青少年」を育成する必要があると考えます。

今年度、青少年委員会では、子供たちにこの地域の魅力を通して「故郷」の持つ素晴らしさを学び、成人してもこの地を愛し､永住したいと思う心を育くませることを目的とした事業を開催します。また、子供達に大人への大きな第一歩を踏み出してもらう為に社会参加の意義を伝える事業を開催し､「故郷」の未来を心から見つめることができる青少年を育成します。更には「わんぱく相撲」を開催することにより青少年の健全なる心身の育成をして参ります。

「宝物」である子供達が､「故郷」に興味を持つことで「故郷」を愛し、そしてこの愛すべき「故郷」の未来を心から見つめることにより、子供達は「故郷の宝」として大きな輝きを放ち地域を牽引する担い手として成長するものと確信致します。

事業報告

○第３２回わんぱく相撲津軽地区大会

開 催 日：平成２８年５月１日（日）
開催場所：青森県武道館
参加員数：大会参加者７３名（若の里相撲体験教室のみ５名　オープン大会４５名　地区大会３３名）
　　保 護 者・観覧者３４４名　県相撲連盟中弘支部２０名　若の里・協力者４名　県立弘前実業高等学校相撲部４名　看護師２名　弘前青年会議所２７名　会員２７名　合計５０１名
事業内容：子ども達が第３２回わんぱく相撲全国大会の出場権をかけた競技を行うとともに、心身を鍛練した。また、相撲に接してもらうために若の里相撲体験教室やオープン大会が行われた。公益社団法人弘前青年会議所との共同開催。

○第３２回わんぱく相撲全国大会

開 催 日：平成２８年７月３０日（土）、３１日（日）
開催場所：東京都　両国国技館

参加員数：対外約２，０００名、会員２名、合計約２，０００名
事業内容：各地区大会を勝ち抜いた子ども達が、第３２回わんぱく相撲全国大会において日頃の鍛練の成果を存分に発揮した。公益社団法人東京青年会議所が主催。

○８月定例会　ごしょりんクエスト
開 催 日：平成２８年８月１７日（水）～１８日（木）
開催場所：五所川原市内（金木・市浦地区含む）
参加員数：会員３７名　小学生３１名　合計６８名
事業内容：地図とヒントを頼りに五所川原にある郷土に関する場所を子供達自らが探し求めることにより、記憶に残る郷土愛を育くむことを目的とし行われた。

○１０月定例会 かだるべ五所川原
開催日：平成２８年１０月２４日（月）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：会員３５名　高校生３３名　市議会議員８名　市役所職員１１名　講師１名　大学生２名　合計９０名
事業内容：２０年後の自分自身と五所川原について高校生と大人がワールドカフェ方式で対話を行うことで、高校生自身が様々な角度から五所川原そして自分自身の未来を見つめ直し、「故郷」に興味を抱き愛する心を芽生えさせることを目的とし行われた。

かえりみて

今年度、青少年委員会では、わんぱく相撲・ごしょりんクエスト・かだるべ五所川原の三本の矢で青少年事業を行って参りました。

わんぱく相撲津軽地区大会では弘前ＪＣとの協同開催で行われ、事業開催までに何度も打合せを行うことによりＬＯＭを越えた友情も芽生え、これにより若の里関の相撲教室など、例年にない参加者・観客のもと、わんぱく相撲を開催することができました。

ごしょりんクエストでは初事業ということで実施まで山あり谷あり様々な修練がありましたが委員会・理事会で協議を重ねることにより個人的にはとても良い事業になったと感じております。びしょ濡れになりながらも一生懸命郷土にあるものを探した初日の五所川原地区クエスト。一転、暑い中ほとんど歩いたことが無い場所で探し求めた金木地区クエスト。住民の優しさが伝わった市浦地区クエスト。どの地区も私にとってとても印象深く、また、子供達にとっても同じように心に残る郷土として育まれたと思っています。

かだるべ五所川原では市内の高校生に自分自身と五所川原の未来について考えてもらいました。この事業では五所川原市議会議員・五所川原市役所職員の協力もあり高校生達から良かったと多数の声を頂くことができました。一方、私たち大人も高校生の率直な思いを知ることができ、今後のＪＣ活動へのヒントを得ることが出来たのではないかと感じております。

今年度の青少年事業は新しい内容が多く、皆様には沢山の心配をおかけしました。しかしながら、実施に向けて委員のみんなが協力して頂いたおかげでどれも印象に残るすばらしい事業になったと感じて

おります。また、入会間もないメンバーが多い委員会でしたが、最後にはみんなそれぞれ仕事をこなし、成長する姿を見ることができたのも委員長としてとてもうれしく感じております。

最後に、様々な意見を下さいました理事の皆様、事業に協力して頂きましたメンバーの皆様、適切な指導を下さいました高橋副理事長、最後まで私について来てくれた委員会の皆様、本当に一年間ありがとうございました。

まつり委員会

構成メンバー

副理事長　　楢崎　誉人
委 員 長　　田中　宏明
副委員長　　下川原伸彦
委　　員　　秋田　　純、大坂谷　努、豊澤　孝行、鎌田　智行

基本方針

愛しく誇れる私達の「故郷」、奥津軽。「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穣」「悪疫退散」の祈りを込めて、地域の皆様と協力して行ってきた「奥津軽虫と火まつり」も本年度で４４回を迎えます。伝統行事として定着したこのまつりも、観客数が徐々に増える一方、年々、参加団体が減少し、後継者不足等の問題が懸念されております。先人達から伝承を続け、長きに渡り行われてきたこのまつりの燈火を引き継いでいく為に、関係諸団体と協力し、持続的な運動展開をしなければなりません。

その為には、これまで行われてきた親善大使活動を継続し、高校生と大学生を親善大使に認定する定例会を開催し、親善大使による地域の皆様へのまつりの周知活動と、小学生へのまつりの意義の伝承を行います。そして、この活動を通じて共感を得た方達が「奥津軽虫と火まつり」に有意義に参加できる環境を整えて参ります。また、節目となる「第５０回奥津軽虫と火まつり」を念頭に置き、まつりの諸問題を解決する方法を考え、関係諸団体と協力し合いながら持続的な運動展開を行って参ります。

幾度となく天災を「不撓不屈」の精神で乗り越えてきた先人達。この先人達より受け継がれてきた「虫送り」の燈火を、地域の宝である子供達に伝承する事が、我々の願いである「明るい豊かな社会の実現」、そしてこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業報告

○４月公開定例会「奥津軽虫と火まつり親善大使登録会」

開 催 日：平成２８年４月２４日（日）
開催場所：五所川原市中央公民館　１階大ホール
参加員数：親善大使登録者（五農１４、商業７、一高１８、ポリテク１６）計４校５５名の内、参加者（五農７、商業７、一高１８、ポリテク０）計３校３２名。
事業内容：１時間半の登録会の前半で、各種説明を配布資料・ＰＰ・ＰＶで行い、親善大使活動やまつりの歴史、まつりの様子を学んで頂いた。後半は小松明の製作体験を通して、まつりの一部を肌で感じて頂いた。

○奥津軽虫と火まつり親善大使の活動

開催日：平成２８年４月２４日（日）～６月１８日（土）
開催場所：五所川原市（ＴＶ 出演は青森市）
参加員数：・親善大使登録者４校５５名が、実施期間中に参加した人数は延べ１６８名、その内、親善大使認定者は（五農９、商業７、一高１８、ポリテク１６）４校５０名。

・紙芝居事業参加小学生（五小４２、南小４４、中央小５５、栄小７１、三輪小４１、松島小３１、市浦小１１）７校２９５名・ＪＣ会員（修行１２、紙芝居５５、松明製作－、ラジオ６、市長表敬６、祈願串５、わっち４、まつりスタッフ－、あっぷるワイド６）延べ９４名。※松明製作とまつりスタッフを除く。・体内９４名、対外４６３名、計５５７名（延べ人数）

事業内容：メイン活動の準備としての「修行」、メイン活動は、親善大使と小学生へまつりの意義の伝承、地域住民へまつりのＰＲを目的とした「紙芝居」「松明製作」「ラジオ出演」「市長表敬訪問」「祈願串事前頒布協力」「テレビ出演」「まつり当日のお手伝い」を、４月定例会からまつり当日までの期間で行った。

○６月公開定例会「奥津軽虫と火まつり」

開 催 日：平成２８年６月１８日（土）

開催場所：五所川原市内（大町～岩木川河川敷）

参加員数：会員３８名　観覧者５，０００名　合計５，０３８名

事業内容：ふるさとの伝統行事として定着し、当会が主催する虫送りまつりである「第４４回奥津軽虫と火まつり」を開催した。立佞武多の館前から出発した各団体は、虫や囃子、松明とともに河原へ向かい練り歩き、河原では、神職による神事と大虫昇天の儀や一般参加者による祈願串のお焚き上げが行われ、最後はふるさとの幸せを願い弥栄三唱で締めくくられ、まつりは滞りなく終えられました。

かえりみて

時が経つのが早く感じるこの頃、私も３６才になり四捨五入すれば４０才であります。まつり委員会の活動は６月までと短く、しかし、凝縮された活動を今振り返れば、苦労はなぜか記憶に薄く、仲間との思い出や、紙芝居や松明製作をする高校生や小学生の様子など、良い事の方が覚えている気がします。おそらく私も善人なのでしょう。

さて、私のＰＣメモに２７年１２月２２日に第２回委員会を行ったとあるので、委員会活動は１２月から始まり、４月定例会「親善大使登録会」ではスクリーンが見えない、音声が聞こえないと、出だしから委員ともども反省した次第です。続く「親善大使活動」はプログラム数、参加校数ともに多く、委員は週３回ペースのスケジュールを見ても「やるしかねべ」と言ってくれました。実際は予定がずれて期間後半に週５ペース位になり、松明製作期間と重なっている中でも協力してくれました。私が決断できないでいる時も後押ししてくれました。委員会打合せでは、私がお題を出せば委員がいい方法を考えてくれました。今年のまつり委員会はいつもこのようなスタイルでした。

松明製作では、「仕事で８時からしか来れないが毎日来る」と言って毎日来た秋田純、いつも私より早く来る豊澤孝行、など！。たくさんの人に協力してもらいました。また、松明製作中に高校生と紙芝居練習した事も良い思い出です。

まつり本番の数日前、松明製作と親善大使活動もほぼ終わり、製作小屋で委員と「終わってまるな」と話した事が感慨深く、おそらく忘れないでしょう。

まつり当日は、禊も経験できすっきりし、本当に汚れが取れた気がしました。まつりのクライマック

ス、燃える松明、大虫昇天、花火、見入る観客、親善大使、小学生、ＪＣの仲間、そして委員みんなと強く握手した事。思い出せば今でもその時の感情が蘇ります。

キリがないので最後に、「みなさん、ありがとうございました！」

そしてもう一言、「１６まつり委員会、これからもよろしく」

地域委員会

構成メンバー

副理事長　上見　一嘉
委 員 長　平山　稔洋
副委員長　平田　浩介
委　　員　高松　一政、原田美由紀、外崎　　紳、花田憲一朗、山下　高広　境谷　幸人
　　神　　康知

基本方針

我々、五所川原青年会議所の先輩方は、「修練」「奉仕」「友情」の三信条を基に、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、地域振興運動を展開して参りました。また、地域のまちづくりには市民同士の信頼関係・交流等、地域の問題に積極的に取り組む市民の力が必要不可欠です。そこで、市民の力を引き出す為に市民・行政・青年会議所が一体となり、三者が同じベクトルに向け、市民意識の向上に向けた運動を展開していかなければなりません。

その為には、２０１２年度から行われた市民の生の声を市政に届けることのできる「市民討議会」を今年度も開催し、地域の発展に繋がる可能性を見出す為に真剣に議論を重ね、市民参画意識を高められるよう市民同士が共感・共有できる場を作り上げて参ります。また、２０１３年度より設立された、市民と青年会議所が協働で行う「らぶ・ごしょがわら実行委員会」を継続し、市民が率先して運動を展開できるよう努めて参ります。

地域のまちづくりを市民団体・行政と協働で行うことで、地域を支えているという当事者意識を持つことができ、時には大きな運動に発展していくものだと考えます。そして、「明るい豊かな社会」の実現、夢溢れる「故郷」の創造に繋がることと信じ、一年間邁進して参ります。

事業報告

○らぶ・ごしょがわら実行委員会

開 催 日：通年
開催場所：五所川原市民情報学習センター・五所川原中央公民館
参加員数：対外平均１０名、対内７名、合計１７名
事業内容：本年は「ごしょりん健康体操推進事業」、「パパハグへの出店」、「青森放送わがまちＣＭ大賞への作品出展」、「五所川原産業まつりへのらぶ・ごしょ弁当製作販売」「食と笑顔の健康セミナー」を行った。

○五所川原市民討議会

開催日：平成２８年７月２３日（土）
開催場所：五所川原市民情報学習センター
参加員数：対外３５名、対内２１名、合計５６名
事業内容：無作為に抽出された１５００名の市民の中から３６名の参加承諾を得て、事前辞退者を含め

当日２６名で、「子どもからお年寄りまで活き活きと暮らせる五所川原を考えよう！～世代を超えた絆を深めるために～」をテーマとしてグループワークをしていただきました。

○五所川原市民討議会実行事業 ～津軽のかまりっこ～

開 催 日：平成２８年１０月１６日（日）
開催場所：立佞武多の館広場（軽トラ市内）
参加員数：対外１０４名程度、対内１６名、合計１２０名
事業内容：７月に開催された市民討議会での意見を基にした事業「津軽のかまりっこ」と題して、軽トラ市の会場をお借りして、１．立佞武多囃子講座　２．方言集　３．郷土料理ふるまい　４．昔遊びのブースを設置し、世代間交流を目的として行いました。

○１１月公開定例会「食と笑顔の健康セミナー」

開催日：平成２８年１１月１３日（日）
開催場所：五所川原中央公民館大ホール・調理室
参加員数：対外２２名、対内２８名、合計５０名
事業内容：昨年の市民討議会の意見を基に企画した公開定例会。昨年の大テーマが人口減少としておりその中で健康に関する意見が多く出されましたので「食と笑顔の健康セミナー」を開催しました。第１部～食と笑顔の健康セミナー　第２部～減塩食料理教室、健康を意識していただくことを目的とした事業となりました。

○市民討議会報告書作成

報 告 者：市民討議会参加者２６部、平井先生１部、企画課２部、秘書課１部、市議会３０部
青年会議所２０部　合計８０部

かえりみて

今年度、当委員会はらぶ・ごしょがわら実行委員会の方向性を変えるべく寄付金から事業費の運営、市民討議会の意見を年内に事業化すること、を新たなこととして活動して参りました。

らぶ・ごしょがわら実行委員会は、パパハグ・らぶごしょ弁当販売・ごしょりん健康体操推進事業・CM 大賞・食と笑顔の健康セミナーを事業として活動して参りました。各事業部会長を筆頭に委員全員で連携して行えたこと思います。市民の意見が事業化できる団体ですので継続していただきたいと思います。

五所川原市民討議会では、平井先生と連携しながら市民参画意識・当事者意識向上を目的としました。また、もう一つの目的として年内に具現化し事業化することでした。討議会を通して今後のまちづくりに対する意識が変わった方変わらなかった方といましたが、このような市民参加型の事業に参加したいという回答が９割を超えていましたので、討議会開催の意義が果たされたものと思います。

今年度初めての試みである五所川原市民討議会実行事業を開催しました。市民討議会の意見を基に企画したものでありましたが、討議会参加者が４名協力いただき、皆さんからは参加人数が少ないと思われたかもしれませんが、私個人的には満足しておりました。討議会で出された意見を事業化したくさん

の人に集まってもらい楽しく事業ができたことに感謝しております。

１１月公開定例会は昨年の討議会の意見を基にした事業ですが、とにかく時間と意見が多く正直逃げ出したくなる事業でした。ご協力いただきました関係者の皆様本当にありがとうございました。思えば、初委員会開催から数か月間は何をやっているのかわからない委員会だったと思います。何をやっていいかわかりませんでした。そんな中、プライベートも返上して市民討議会の１,５００通の封筒詰め作業を皆で協力して行った辺りから、委員会の結束が高まっていったように思います。

地域委員会の皆様、討議会後の２つの事業企画・立案から事業開催までご迷惑おかけしました。そして、最後の最後までも心配をかけてしまいこのような便りのない委員長で申し訳ございませんでした。こんな私についてきてくださり本当に感謝しております。上見副理事長、ご迷惑ばかりおかけしておりました。最後まで本当にありがとうございました。

また、その他会員の皆様、地域委員会にご協力いただきありがとうございました。

最初から不安で最後まで不安でしたが、とても貴重で修練に相応しい１年間でした。私を委員長として声をかけていただいた今理事長、ありがとうございました。

ブロック大会特別室

構成メンバー

室　　長　　中西　宗興
担当理事　　菊池　孝一

基本方針

今年度、青森ブロック協議会主催で行われる、第４６回青森ブロック大会が五所川原青年会議所主管で開催されます。この大会を機に、県内各地会員会議所の皆様に奥津軽五所川原の魅力をメンバー一同で発信しつつ、おもてなしの心でお迎えをし、青森ブロック協議会と連携・協力していくとともに、この大会を通して、当会メンバーに新たな気づきを得てもらい、ＪＣ運動に対する参画意識を高めていかなければなりません。

まずは、当会メンバー一丸となって大会構築をしていく為に、実行委員会を組織、運営致します。そして、大会の概要・目的の周知を図り、大会成功へと導く為の定例会を開催致します。さらに、各地会員会議所の皆様に一人でも多く参加頂けるように、五所川原の文化、観光、自然、精神性などの魅力を発信するＰＲを行います。また、青森ブロック協議会と当会との情報を共有し、連携、協力を確実にし、大会の円滑な運営をして頂く為の一助となれるよう、全力で取り組んで参ります。

メンバーが一丸となり、この大会を成功に収めたのち、一人ひとりの意識と資質が向上することで、当会のＪＣ運動がより活発化し、地域発展へと寄与することが、この「故郷」の未来が「明るい豊かな社会」の実現へと繋がっていくと確信致します。

事業報告

○３月定例会

開催日：平成２８年３月１７日（木）
開催場所：五所川原市民学習情報センター　２Ｆ　視聴覚室
参加員数：対内３３名　対外１名　合計３４名
事業内容：①青森ブロック協議会の説明、青森ブロック大会の概要、目的を説明。
②五所川原青年会議所ＯＢの今広樹先輩の講話。
③グループディスカッションを行う。
実行委員会の部会（３グループ）に分け、シュプレヒコールを全会員で考える。

○青森ブロック大会実行委員会設立

開催日：平成２８年２月２３日（火）・５月１０日（火）・６月２８日（火）
開催場所：五所川原市民情報学習センター　２Ｆ　視聴覚室
参加員数：会員７６名
事業内容：実行委員会では部会を設け、概要説明、各部会会議（総務、大懇親会、魅力発信）、全体予算計画、最終打合せを行います。

○第４６回青森ブロック大会大懇親会及びＰＲ活動

ＰＲ活動：平成２８年４月～５月

大懇親会開催日：平成２８年７月２日（土）

開催場所：立佞武多の館　１Ｆホール

参加員数：県内各地会員会議所会員及び五所川原ＪＣシニアクラブ１４７名（登録３６１名）

事業内容：各地会員会議所へＰＲ（十和田・黒石・三沢・青森・弘前・八戸・むつ）大懇親会を通して、五所川原の魅力を発信するとともに、参加した県内各地の会員会議所会員にＬＯＭの枠を超えた交流の機会を提供する。

かえりみて

７月まで頑張ればよいと言われ受けた青森ブロック大会の実行委員長。準備の着手が遅くなり早々に理事長にご心配おかけし、申し訳ございませんでした。第１回実行委員会の際にはインフルエンザにかかってしまい、中西室長にもご迷惑をお掛けしてしまいました。３月定例会では準備不足により皆様にご迷惑をお掛けしました。こんな迷惑ばかりかけている実行委員長を宮崎部会長、島村部会長、高松部会長が支えてくれて大会準備をスムーズに進めることができました。部会長の皆様、本当にありがとうございました。県内各地をまわったＰＲ。忙しい中、一緒に回っていただいた皆様、ありがとうございました。緊張して嫌だったＰＲが楽しくなってしまいました。各地会員会議所の皆様に五所川原の魅力を発信できたと思います。

ブロック大会当日、雨が降り、外での開催ができなくなってからの対応、準備、そして設えの五所川原 JC の団結力はすばらしく、頼もしく思えました。外とは違い狭い空間での大懇親会でしたが、立佞武多や高校生による三味線などで盛り上がりました。県内各地会員会議所の皆様へ最高のおもてなしができたと思っております。また、皆様より素晴らしい大会でしたとの声掛けを頂き、嬉しく思います。今理事長が掲げた、県内各地会員会議所の皆様が「五所川原大会に来て良かった」と感じていただけた大会になったと思います。第４６回青森ブロック大会の大懇親会を担当させてもらい、貴重な経験をさせてもらいありがとうございました。ブロック大会に協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。

青森ブロック大会 in 奥津軽五所川原 大懇親会

JCI

２０１６年度庶務報告

《入会者》

高　谷　　怜
川　村　優　弥
森　下　洋　光
境　谷　幸　人
福　士　裕　朗
山　下　高　広
石　田　　潤
神　　康　知
小山内　圭　輔
川　浪　晃　矢
石　川　恭　裕
山　田　恭　嗣
葛　西　翔　悟

《卒業者》

平　川　新　介
佐　藤　昭　義
秋　田　　純
松　橋　康　成
小笠原　崇　文
原　田　美由紀
外　崎　　紳

◇ＪＣ功労賞	平　川　新　介、佐　藤　昭　義、秋　田　　純、松　橋　康　成、小笠原　崇　文、原　田　美由紀、外　崎　　紳
◇定例皆勤賞	秋　田　　純、下川原　伸　彦
◇新人賞	小　野　顕　成
◇ＳＵＰＰＯＲＴ賞	田　中　宏　明
◇ JAYCEE OF THE YEAR2016	對　馬　央　也
◇委員会 OF THE YEAR2016	青少年委員会

月　日	行　　事	場　　所
１月		
4 日	第１回理事会（19 時～）	４階会議室
6 日	新年祝賀会リハ（19 時～）	プラザマリュウ五所川原
9 日	新年祝賀会（14 時～リハ・18 時～祝賀会）	
13 日	月次巡回監査（14 時～）	事務局
15 日	財務管理委員会（18：30 ～）	事務局
19 日	会員委員会（19 時～）	事務局
20 日	第２回三役会（19 時～）	事務局
26 日	基金管理委員会（19 時～）	事務局
29 日	地域委員会（19 時～）	事務局
２月		
2 日	青少年委員会 (19 時～)	事務局
3 日	会員委員会（19 時～）	事務局
5 日	⑮第 15 回理事会（18 時～）/ 第 2 回理事会（19 時～）	４階会議室
9 日	月次巡回監査（13：30 ～）	事務局
10 日	まつり委員会（19 時～事務局）／会員委員会（19 時～）	事務局
15 日	支払日 / 財務管理委員会（19 時～事務局）	事務局
18 日	第３回三役会（19 時～事務局）	事務局
19 日	総務委員会（19 時～事務局）/ まつり委員会（19 時～）	事務局
23 日	ブロック大会実行委員会（19 時～）	学習情報センター
25 日	会員委員会（19 時～）	事務局
26 日	らぶごしょ総会＆第１回実行委員会（19 時～）	学習情報センター
29 日	通常総会（19 時～）	ホテルサンルート五所川原
３月		
4 日	第３回理事会（19 時～）	第２研修室
8 日	まつり委員会（19 時～）	事務局
10 日	月次巡回監査（13 時～）	事務局
11 日	地域委員会（19 時～）	事務局
14 日	会員委員会（19 時～）	事務局
15 日	支払日 / 財務管理委員会（19 時～）	事務局

月　日	行　　事	場　　所
17 日	３月定例会（18：45 ～）	学習情報センター
18 日	第４回三役会（19時～）	事務局
22 日	新入会セミナー（19 時～）	養老の瀧
30 日	会員委員会（19 時～）	事務局
４月		
5 日	第４回理事会（19 時～）	４階会議室
7 日	地域委員会（19 時～）	事務局
11 日	総務委員会（19 時～）	事務局
12 日	ブロック大会部会長会議／まつり部会長会議（19 時～）	事務局
13 日	青少年委員会（19 時～）	事務局
14 日	財務管理委員会／まつり委員会（19 時～）	事務局
15 日	支払日／ブロ大会ＰＲ	十和田
20 日	第５回三役会（19 時～）	事務局
21 日	ブロ大会ＰＲ／大懇親会部会（20：30 ～）	黒石／事務局
22 日	異業種交流会（19 時～）／月次巡回監査（14：30 ～）	イズミボウル
23 日	まつり委員会（19 時～）	事務局
24 日	４月定例会	
25 日	第２回らぶごしょ実行委員会（19 時～）	公民館
27 日	ブロ大会ＰＲ／青少年委員会（19 時～）	三沢／事務局
28 日	まつり作業はじめ（9時～）／事始祭＆第１回実行委員会（18 時～）	神明宮
29 日	親善大使１（18：30 ～）	学習情報センター
５月		
1 日	わんぱく相撲津軽地区大会	青森県武道館
2 日	市民討議会設立総会（11 時～）	事務局
5 日	ブロ大会ＰＲ	青森
6 日	第５回理事会（19 時～）	４階会議室
9 日	ブロ大会ＰＲ／まつり BBQ（19 時～）	弘前／山板倉庫
10 日	第２回ブロ実行委員会（19 時～）	学習情報センター
16 日	支払日／月次巡回監査（13 時～）	
18 日	ブロ大会ＰＲ／財務管理委員会（19 時～）	八戸／事務局

月　日	行　　事	場　　所
19 日	５月定例会（19 時～）	学習情報センター
20 日	第６回三役会／第２回臨時理事会	事務局
21 日	ブロ大会ＰＲ	むつ
25 日	新入会員交流会（18 時～）	製作小屋
26 日	OB 交流会（19 時～）	五所川原温泉
27 日	まつり第２回実行委員会	神明宮
31 日	大懇親会部会（20 時～）	事務局
６月		
６日	財務管理委員会（19 時～）	事務局
７日	第６回理事会	
９日	河原部会／青少年委員会（19 時～）	事務局
10 日	まつり参加者説明会	
13 日	月次巡回監査（13 時～）／まつり会員向け説明会（19 時～公民館）	事務局
14 日	ブロック大懇親会部会（18 時～館）／まつり参加者部会（19 時～）	事務局
15 日	支払日	
18 日	奥津軽虫と火まつり	
22 日	第７回三役会	
23 日	地域委員会（19 時～）	事務局
24 日	総務委員会（19 時～）	事務局
27 日	青少年委員会（19 時～）	事務局
28 日	第３回ブロ実行委（19 時～）	学習情報センター
７月		
１日	第３回臨時理事会	
２日	ブロック大会 in 奥津軽五所川原（～３日）	
６日	第７回理事会	
９日	地域委員会	
11 日	月次巡回監査（14 時～）／青少年委員会／総務委員会	事務局
12 日	地域委員会（19 時～）	事務局
14 日	７月定例会（18：45 ～）	学習情報センター
20 日	財務管理委員会（19 時～）	事務局

月　日	行　　事	場　　所
21 日	市民討議会シミュレーション（18 時～）	学習情報センター
23 日	市民討議会（14 時～）	学習情報センター
25 日	第８回三役会	
８月		
1 日	第８回理事会（19 時～）	４階会議室
9 日	月次巡回監査（11 時～）	事務局
10 日	新入会員セミナー（19 時～）／クエスト事業説明会	養老乃瀧
16 日	支払日	
17 日	８月定例会ごしょりんクエスト（～ 18 日）	
22 日	財務管理委員会	
24 日	まつり第３回実行委員会（19 時～）	一心亭
25 日	第９回三役会	
26 日	地域委員会（19 時～）	事務局
28 日		
29 日	総務委員会	事務局
９月		
1 日	第９回理事会	
6 日	青少年委員会（19 時～）	事務局
8 日	地域委員会（11：30 ～）	事務局
14 日	第４回臨時理事会	
15 日	支払日 / 財務管理委員会（19 時～）	事務局
16 日	月次巡回監査（10 時～）	事務局
20 日	新竹来訪（～ 22 日）	
23 日	第 10 回三役会	
26 日	総務委員会	
29 日	9 月通常総会（18：45 ～）	ホテルサンルート五所川原
10 月		
3 日	第１回予定者理事会（19 時～）	４階会議室
4 日	南小生インタビュー（14 時～）	事務局

月　日	行　　事	場　　所
5日	第10回理事会（19時～）	４階会議室
11日	地域委員会（19時～）	事務局
12日	月次巡回監査（13時～）／かまりっこ打合せ（19時～）	事務局
13日	総務委員会（19時～）	事務局
16日	市民討議会実行事業（軽トラ市）	
17日	支払日 / 第２回予定者理事会（19時～）	４階会議室
20日	第11回三役会	
24日	立入検査／ 10月定例会（17時～）	公民館
25日	委員長セミナー（19時～）	事務局
31日	わんぱく祝勝会（19時～ちゃんこ）	
11月		
1日	第３回予定者理事会	
2日	第11回理事会	
10日	月次巡回監査（10時～）	事務局
11日	地域委員会（19時～）	事務局
13日	11月定例会	中央公民館
15日	支払日	事務局
29日	第５回予定者理事会	
12月		
5日	第12回理事会 / 第１回予定者臨時理事会	
9日	月次巡回監査（10時～）	事務局
13日	第６回予定者理事会	
15日	支払日	
16日	悠々会（19時～ティップオフ）／総務委員会（19時～）	事務局
17日	シニアクラブ顔合わせ（19時～）	五所川原温泉
18日	12月定例会	
26日	決算理事会（18時～４階会議室）/ 第２回予定者臨時理事会	
27日	御用納め（９時～）	事務局
28日	第１回三役会（19時～）	事務局